

# 地域とともにある学校をめざして

～地域の行事に参加して～

【宇部市 黒石中学校区】

## 地域の概要

黒石中学校区は、宇部市の西部に位置し、原小学校区と黒石小学校区からなっています。原小学校区は、かつて炭鉱でにぎわったところです。

一方、黒石小学校区は、現在は商業地域として、また新興住宅地として発展し、著しく人口が増加しています。

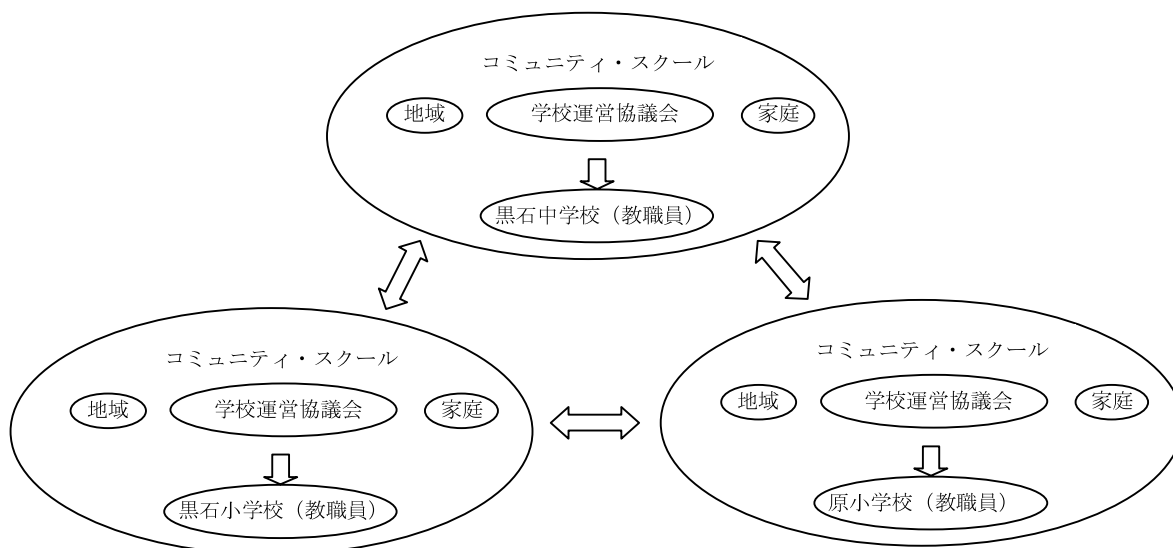
人口	16,488人	
世帯数	7,480世帯	
対象校及び児童生徒数	黒石中学校	387人
	原小学校	255人
	黒石小学校	573人

## 組織の内容

宇部市では、平成25年に市内の全小中学校にコミュニティ・スクールが導入され、黒石中学校区では、原小学校、黒石小学校、黒石中学校それぞれに学校運営協議会が設置されました。この3校の学校運営協議会が連携し、「黒石校区協育ネット」として取り組んでいます。

小中連携としては、「学習スタイルの共有（学び合いを中心に）及び学習マナーの定着」、「一声かけてのあいさつの徹底」、「無言清掃の徹底」の三項目を共通理解の下、取り組んでいます。今年度は、夏季休業中に、3校の教職員及び各学校運営協議会の合同研修会において熟議を行い、「めざす子ども像」について協議しました。また、中学校のオープンスクールの際において両小学校での小中連携を実施しました。さらに、今年度から両小学校へ中学校の教員が指導者として出向き、交流授業を実施しました。

朝の交通指導をはじめ、放課後の学校施設利用も始まり、地域の方々が積極的に関わっていただき、地域とともにある学校へ動き出しました。



## 特色・重点的な取組

本中学校区では、各校が地域に開かれた学校をめざし、地域の方々による学校支援や児童生徒・教職員による地域貢献を行っています。地域のコミュニティ運動会への参加、地域の清掃活動（中川清掃）への参加、両地域合同の自主防災訓練への参加等、地域での活動に力をいれています。これらは、学校と地域のWin・Winの関係を作ることで地域に開かれ信頼される学校づくりにつながっています。

## 主な活動の紹介

### 【地域で躍動1】—原校区コミュニティ運動会に中学生が参加

原小学校区でのコミュニティ運動会に、中学校の生徒が参加しました。5月に実施された運動会では、好天に負けないほどの活躍をしました。競技に参加するだけでなく、招集、賞品、道具、バザー係の役割の生徒がそれぞれ一生懸命に活動しました。この運動会に参加した生徒の表情や活動からは、はにかみながらも競い合いに夢中になるのが分かりました。この様子から、生徒は地域に生き、また、地域に支えられながら育てられていると感じました。



原校区コミュニティ運動会

### 【地域で躍動2】—校区の中川清掃に中学校が参加

黒石中学校区を流れる中川周辺の清掃活動にボランティアとして参加し、今年度が2年目になります。2、3年生は昨年も参加した生徒が多く、要領を得ており手際よく清掃しました。この「中川清掃」を行うにあたり、事前に地域の先達を招いて「地域に学ぶ講演会」を開催しました。地域を流れる川を身近に感じながら、清掃活動に励むことができました。



中川清掃

### 【地域で躍動3】—両校区合同自主防災訓練に中学生が参加

8月30日に、1年生が両小学校区の自主防災訓練に参加しました。この訓練は、9月1日の防災の日に合わせて実施されています。

今年度は、災害の形態に合わせて避難指示の連絡を受け、自宅から指定された場所に避難するという訓練内容でした。自治会ごとに想定される災害に合わせて訓練し、教員も避難場所に待機するなど、学校をあげて訓練に参加しました。



防災訓練ワークショップ

黒石小学校区では、中学生17名がワークショップに参加し、災害時の危険場所について気付きを発表するなど、地域をあげての訓練に一役買っていました。

## 成果と課題

多様な教育活動による学びの質の向上を図ることができました。保護者や地域の方々が学校を支えることで、学校と保護者・地域の連携・協働を実現し、多様な活動を行うことができます。地域の方が評価者になることで、児童生徒の自己肯定感の達成につながります。また、地域を再発見することで、児童生徒も自分たちの地域に深い愛情をもつと思われれます。

活動を通して、児童生徒との関わり合いは、保護者・地域にとっても刺激になります。この刺激の中で、地域の中の問題を自分たちで協力し合い、解決することが可能な力をつけることにつながります。活力のある地域の中で、児童生徒は育つということをコミュニティ・スクールの取組を通して確信しました。

## 今後の取組

今後は、「学校の敷居」を低くするために、地域・家庭に情報を今以上に発信していきます。

また、学校が地域・家庭とより連携するために、教職員が地域に積極的に出向き、視野を広げていくことに努めていきたいと考えています。